



2020年5月22日

各位

会社名 TPR株式会社
代表者名 代表取締役社長兼COO 岸 雅伸
(コード番号 6463 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 羽石 和弘
(TEL. 03-5293-2814)

当社子会社(株式会社ファルテック)の個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社ファルテックの2020年3月個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、お知らせいたします。

- ・2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)及び
2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の個別業績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	49,476	△5.4	1,314	△18.7	△1,404	—
2019年3月期	52,323	4.2	1,617	421.6	1,189	—

[公表の理由]

当期純利益について、前期決算値と当期決算値に一定以上の差異が生じたため、その内容を公表するものです。

[差異の理由]

子会社の業績悪化に伴い、子会社株式等について特別損失を計上したことによるものです。
なお、本件計上による当社および株式会社ファルテックの連結業績への影響はありません。

(添付)

- ・株式会社ファルテックの開示資料



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月22日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日 2020年6月10日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	85,312	△5.9	2,159	4.9	2,101	△5.5	1,794	72.7
2019年3月期	90,701	3.6	2,058	17.0	2,225	31.9	1,038	25.0

(注) 包括利益 2020年3月期 1,517百万円 (262.5%) 2019年3月期 418百万円 (△58.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	191.38	—	10.3	3.0	2.5
2019年3月期	110.79	—	6.1	3.1	2.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 35百万円 2019年3月期 39百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	69,826	20,070	25.8	1,920.94
2019年3月期	71,297	18,779	23.7	1,800.88

(参考) 自己資本 2020年3月期 18,014百万円 2019年3月期 16,888百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	6,621	△3,499	△1,271	11,717
2019年3月期	1,821	△8,225	2,541	9,976

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00	271	26.2	1.6
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00	271	15.2	1.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「4. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	9,378,600株	2019年3月期	9,378,600株
2020年3月期	628株	2019年3月期	628株
2020年3月期	9,377,972株	2019年3月期	9,377,974株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	49,476	△5.4	1,500	142.0	1,314	△18.7	△1,404	—
2019年3月期	52,323	4.2	620	92.4	1,617	421.6	1,189	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△149.82	—
2019年3月期	126.87	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	43,021	8,273	8,273	9,952	19.2	882.26	882.26	
2019年3月期	47,049	9,952	9,952	9,952	21.2	1,061.28	1,061.28	

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,273百万円 2019年3月期 9,952百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想につきましては、本資料の発表時現在において合理的な算定が困難であるため記載していません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感、英国のEU離脱問題等により世界経済の不確実性が増していたのに加え、2019年12月以降に発生が報告された新型コロナウイルス感染症の広がりにより世界経済が大きく減速したことにより、足元では先行きを見通せない厳しい状況となっております。当社グループの属する自動車業界の概況も、グローバルで販売・生産台数が落ち込み、先行き不透明な状況となっております。

このような情勢の中、当連結会計年度の売上高は、グローバルでお客様の生産台数減の影響を受け85,312百万円（前連結会計年度比5.9%減）となりました。

営業利益は、海外の売上高減少に伴う利益減影響に加え英国子会社での退職給付費用増等があったものの日本セグメントにおいてコスト低減活動が進んだこと等により、2,159百万円（前連結会計年度比4.9%増）となりました。経常利益は、営業外収益として国内設備投資に関連する補助金収入208百万円を含む475百万円、営業外費用として為替差損137百万円、藤沢物流センター閉鎖に伴う事業所閉鎖損71百万円、北米子会社の取扱製品見直しに伴う在庫処分損60百万円を含む532百万円を計上し、2,101百万円（前連結会計年度比5.5%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、藤沢物流センター売却等による固定資産売却益1,538百万円等を計上し、1,794百万円（前連結会計年度比72.7%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、特に例年自動車市場が活況となる2月・3月のお客様販売・生産台数大幅減の影響や前連結会計年度に寄与した電装品等の新規商品効果が限定的となったこと等により66,928百万円（前連結会計年度比3.1%減）となりました。セグメント利益は、操業減影響があったものの九州地区において投資した最新鋭設備による合理化効果、当社独自のコスト低減活動Faltec production systemの寄与が進んだこと等により、2,461百万円（前連結会計年度比63.3%増）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、市場の停滞によるお客様の生産減の影響や中国子会社の取扱製品の見直し等により10,917百万円（前連結会計年度比6.3%減）となりました。セグメント利益は、中国子会社再編による人員効率化効果等あったもののタイ子会社の操業減影響や新車立上げ準備費用増等を補いきれず、932百万円（前連結会計年度比9.9%減）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、英国のEU離脱問題に端を発したお客様の生産減の影響や北米子会社の取扱製品見直し影響等により7,466百万円（前連結会計年度比25.2%減）となりました。セグメント損失は、操業減影響に加え英国子会社の退職給付費用増や構造改革に伴う費用の計上等により1,327百万円（前連結会計年度は554百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は69,826百万円となり、前連結会計年度末比で1,470百万円の減少となりました。このうち、流動資産は37,590百万円となり前連結会計年度末比で985百万円の減少となりました。流動資産の主な増減は、余裕のある手許資金を保有する方針により現金及び預金の増加1,741百万円、売上高減少や一部取引先からの売上の回収条件が改善したことによる受取手形及び売掛金の減少2,913百万円等であります。また、固定資産は32,236百万円となり前連結会計年度末比で485百万円の減少となりました。固定資産の主な減少は、藤沢物流センター閉鎖に伴う土地の減少等795百万円等によるものであります。

負債は49,756百万円となり、前連結会計年度末比で2,761百万円の減少となりました。このうち、流動負債は34,062百万円となり前連結会計年度末比で2,745百万円の減少となりました。流動負債の主な減少は、仕入減少に伴う電子記録債務の減少1,372百万円、支払手形及び買掛金の減少1,053百万円等であります。固定負債は15,694百万円となり前連結会計年度末比で15百万円の減少となりました。固定負債の主な増減は、長期借入金の減少729百万円、退職給付に係る負債の増加515百万円等であります。

純資産は20,070百万円となり、前連結会計年度末比で1,290百万円の増加となりました。純資産の主な増加は、親会社株主に帰属する当期純利益等による利益剰余金の増加1,495百万円等であります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は25.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は11,717百万円となり、前連結会計年度末比で1,741百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、6,621百万円（前連結会計年度比4,800百万円増）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前当期純利益3,350百万円、減価償却費4,153百万円、売上債権の減少2,883百万円であります。主な資金の減少は、仕入債務の減少2,410百万円、固定資産売却益1,498百万円、法人税等の支払596百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、3,499百万円（前連結会計年度比4,725百万円減）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出6,093百万円、固定資産の売却による収入2,657百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により運用した資金は、1,271百万円（前連結会計年度は2,541百万円の調達）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出5,524百万円、長期借入れによる収入3,000百万円、短期借入金の純増加額1,419百万円であります。

(4) 今後の見通し

当社グループが属する自動車産業の今後の環境につきましては、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、世界各国とも過去に例を見ないほどの深刻な打撃が懸念され、先行き不透明な状況が続くことが考えられます。当社グループの主要取引先においても、国内外の生産工場で操業を停止している生産ラインが増えており納入数量の見通しが立たず、当社グループ連結業績予想を算定することが困難であるため、2021年3月期の連結業績予想は未定と致します。

今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表致します。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社と子会社12社及び関連会社1社で構成されており、自動車外装部品、自動車純正用品、自動車関連機器事業を主な事業としております。当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係わる位置付けは以下のとおりであります。

地域セグメント	事業内容	主な商品・サービス	事業会社*1
日本 (5社)	自動車外装部品	ラジエターグリル ミリ波レーダーカバー ウィンドウモール等	当社 (株) テクノサッシュ ◎ (株) 北九州ファルテック ◎ (株) いしかわファルテック ○
	自動車純正用品	リモコンエンジンスターター リアビューカメラ等	
	自動車関連機器	車検用機器 タイヤ組立装置 エンジンユニット等	(株) アルティア ◎
アジア (5社) *2	自動車外装部品	ラジエターグリル ウィンドウモール等	佛山發爾特克汽車零部件有限公司 ◎ 湖北發爾特克汽車零部件有限公司 ◎ 広東發爾特克汽車用品有限公司 ◎ FALTEC SRG GLOBAL (THAILAND) CO., LTD ◎
	自動車純正用品	車載工具等	
	自動車関連機器	車検用機器	広州愛路特亜汽車設備有限公司 ●
北米他 (2社)	自動車外装部品	ウィンドウモール ラジエターグリル ミリ波レーダーカバー等	FALTEC AMERICA, INC ◎ FALTEC EUROPE LIMITED ◎
	自動車純正用品	ルーフレール等	

*1 ◎連結子会社、○持分法適用会社、●非連結子会社

*2 他2社（非連結子会社）については当社グループの事業に与える影響が軽微なため記載しておりません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,976	11,717
受取手形及び売掛金	19,926	17,013
商品及び製品	3,367	3,344
仕掛品	568	539
原材料及び貯蔵品	2,993	3,204
その他	1,757	1,790
貸倒引当金	△13	△19
流動資産合計	38,575	37,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,425	9,427
機械装置及び運搬具（純額）	8,373	7,672
工具、器具及び備品（純額）	1,281	1,252
土地	6,983	6,187
リース資産（純額）	940	1,076
建設仮勘定	1,810	2,986
有形固定資産合計	28,814	28,602
無形固定資産	1,093	1,120
投資その他の資産		
投資有価証券	324	302
繰延税金資産	1,933	1,684
その他	561	531
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,813	2,512
固定資産合計	32,721	32,236
資産合計	71,297	69,826

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,114	8,060
電子記録債務	5,927	4,554
短期借入金	9,713	11,130
1年内返済予定の長期借入金	5,144	3,324
リース債務	703	805
未払法人税等	298	746
賞与引当金	949	982
その他	4,957	4,458
流動負債合計	36,808	34,062
固定負債		
長期借入金	8,773	8,044
リース債務	192	316
退職給付に係る負債	5,451	5,966
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	285	358
固定負債合計	15,709	15,694
負債合計	52,517	49,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,668	13,163
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,568	16,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	45
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	2,040
為替換算調整勘定	1,229	1,444
退職給付に係る調整累計額	△923	△1,578
その他の包括利益累計額合計	2,320	1,951
非支配株主持分	1,890	2,055
純資産合計	18,779	20,070
負債純資産合計	71,297	69,826

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	90,701	85,312
売上原価	78,358	73,097
売上総利益	12,342	12,214
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,151	2,054
給料及び手当	3,271	3,221
賞与引当金繰入額	340	342
退職給付費用	212	317
その他	4,308	4,120
販売費及び一般管理費合計	10,284	10,055
営業利益	2,058	2,159
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	39	35
補助金収入	228	208
未払配当金除斥益	53	-
その他	142	190
営業外収益合計	506	475
営業外費用		
支払利息	205	175
為替差損	58	137
事業撤退損	-	60
事業所閉鎖損	-	71
その他	76	86
営業外費用合計	340	532
経常利益	2,225	2,101
特別利益		
固定資産売却益	-	1,538
減損損失戻入益	90	-
課徴金返還額	-	58
特別利益合計	90	1,597
特別損失		
固定資産除売却損	40	40
減損損失	100	308
特別損失合計	141	348
税金等調整前当期純利益	2,174	3,350
法人税、住民税及び事業税	788	966
法人税等調整額	147	411
法人税等合計	936	1,378
当期純利益	1,238	1,972
非支配株主に帰属する当期純利益	199	177
親会社株主に帰属する当期純利益	1,038	1,794

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,238	1,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△33
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	-	32
為替換算調整勘定	△739	202
退職給付に係る調整額	△25	△654
その他の包括利益合計	△819	△454
包括利益	418	1,517
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	337	1,352
非支配株主に係る包括利益	81	165

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,291	609	11,042	△0	13,942
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,291	609	11,042	△0	13,942
当期変動額					
剰余金の配当			△406		△406
親会社株主に帰属する当期純利益			1,038		1,038
土地再評価差額金の取崩					-
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△7		△7
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	-	625	△0	625
当期末残高	2,291	609	11,668	△0	14,568

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	134	△0	1,935	1,851	△898	3,022	2,086	19,052
会計方針の変更による累積的影響額						-		-
会計方針の変更を反映した当期首残高	134	△0	1,935	1,851	△898	3,022	2,086	19,052
当期変動額								
剰余金の配当						-		△406
親会社株主に帰属する当期純利益						-		1,038
土地再評価差額金の取崩						-		-
自己株式の取得						-		△0
連結範囲の変動						-		△7
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△54	0		△621	△25	△701	△196	△897
当期変動額合計	△54	0	-	△621	△25	△701	△196	△272
当期末残高	79	△0	1,935	1,229	△923	2,320	1,890	18,779

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,291	609	11,668	△0	14,568
会計方針の変更による累積的影響額			45		45
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,291	609	11,713	△0	14,613
当期変動額					
剰余金の配当			△271		△271
親会社株主に帰属する当期純利益			1,794		1,794
土地再評価差額金の取崩			△72		△72
自己株式の取得					-
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	-	1,450	-	1,450
当期末残高	2,291	609	13,163	△0	16,063

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	79	△0	1,935	1,229	△923	2,320	1,890	18,779
会計方針の変更による累積的影響額						-		45
会計方針の変更を反映した当期首残高	79	△0	1,935	1,229	△923	2,320	1,890	18,824
当期変動額								
剰余金の配当						-		△271
親会社株主に帰属する当期純利益						-		1,794
土地再評価差額金の取崩						-		△72
自己株式の取得						-		-
連結範囲の変動						-		-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△33	0	104	214	△654	△369	165	△204
当期変動額合計	△33	0	104	214	△654	△369	165	1,245
当期末残高	45	△0	2,040	1,444	△1,578	1,951	2,055	20,070

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,174	3,350
減価償却費	4,093	4,153
のれん償却額	8	-
減損損失	100	308
減損損失戻入益	△90	-
課徴金返還額	-	△58
賞与引当金の増減額 (△は減少)	152	34
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△520	△252
受取利息及び受取配当金	△42	△40
支払利息	205	175
持分法による投資損益 (△は益)	△39	△16
固定資産除売却損益 (△は益)	40	△1,498
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,420	2,883
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△581	△161
仕入債務の増減額 (△は減少)	△798	△2,410
その他	△22	837
小計	3,260	7,305
利息及び配当金の受取額	42	40
利息の支払額	△198	△186
課徴金の支払額	△235	-
課徴金の返還による収入	-	58
法人税等の支払額	△1,047	△596
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,821	6,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,370	△6,093
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	2,657
投資有価証券の取得による支出	△1	△10
長期前払費用の取得による支出	△162	△55
その他	309	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,225	△3,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,358	1,419
長期借入れによる収入	8,100	3,000
長期借入金の返済による支出	△2,665	△5,524
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,314	△1,063
セール・アンド・リースバックによる収入	493	1,168
非支配株主への配当金の支払額	△306	-
配当金の支払額	△406	△271
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,541	△1,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△185	△109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,047	1,741
現金及び現金同等物の期首残高	13,130	9,976
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	893	-
現金及び現金同等物の期末残高	9,976	11,717

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している米国子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」（2014年5月28日）を当連結会計年度より適用しております。当該会計基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、国際財務報告基準（IFRS）第16号「リース」（2016年1月13日）を当連結会計年度より適用しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社及び連結子会社である㈱アルティアにおける退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として12年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当連結会計年度より費用処理年数を10年に変更しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(当社連結子会社における退職給付債務について)

当社の連結子会社である英国子会社Faltec Europe Limitedにおいて、同社年金スキームの定年退職年齢について、65歳での均等化が2010年に有効となったとして取り扱うことと致しました。その結果、当該均等化時期の変更による見積りの変更により当連結会計年度において退職給付債務は1,423百万円増加しております。一方、同年金スキームでは関係者の同意のもと規約に従い年金受給額改定の基礎指標を従来の小売物価指数から消費者物価指数へ変更しております。その結果、当連結会計年度において退職給付債務は1,027百万円減少しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価する構成単位からなっております。

国内においては当社及び国内連結子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、「日本」、「アジア」及び「北米他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,078	11,646	9,976	90,701	-	90,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,051	218	25	1,294	△1,294	-
計	70,129	11,864	10,001	91,995	△1,294	90,701
セグメント利益又は損失 (△)	1,507	1,035	△554	1,988	70	2,058
セグメント資産	61,514	11,862	7,859	81,235	△9,938	71,297
その他の項目						
減価償却費	2,938	787	370	4,096	△3	4,093
のれん償却額	8	-	-	8	-	8
減損損失	2	5	93	100	-	100
持分法適用会社への投資額	69	-	-	69	-	69
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	6,720	314	895	7,930	-	7,930

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,928	10,917	7,466	85,312	-	85,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,030	158	5	1,194	△1,194	-
計	67,958	11,076	7,471	86,506	△1,194	85,312
セグメント利益又は損失 (△)	2,461	932	△1,327	2,067	91	2,159
セグメント資産	58,404	12,160	8,912	79,476	△9,649	69,826
その他の項目						
減価償却費	2,968	824	367	4,160	△6	4,153
のれん償却額	-	-	-	-	-	-
減損損失	0	2	305	308	-	308
持分法適用会社への投資額	86	-	-	86	-	86
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	3,009	676	2,050	5,736	-	5,736

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	1,800.88円	1,920.94円
1株当たり当期純利益	110.79円	191.38円

（注）1．潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2．1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,038	1,794
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	1,038	1,794
普通株式の期中平均株式数（株）	9,377,974	9,377,972

（重要な後発事象）

該当事項はありません。